

福島県立会津支援学校

福島県会津若松市一箕町大字鶴賀字下柳原 102 番地

電話 0242-32-2242 / FAX0242-32-6079

発行日 平成29年7月19日(第54号)

『会津支援学校となって』

校長 神田 豊

本校は平成2年に会津養護学校として小・中学部が開設され、平成4年には高等部も開設されて全学部が整いました。以来、二十数年間に渡って地域に浸透されてきた会津養護学校という名から、今年度より会津支援学校という校名に変わりました。

これは、平成19年に学校教育法が改正され、盲・聾・養護学校の総称が特別支援学校になったことから、全国的に養護学校という名から〇〇特別支援学校や〇〇支援学校に変える都道府県が増えてきました。現在では養護学校という名称が少なくなり、本県も全国の例にならって県立の特別支援学校の名称を変えたことによります。また、養護学校から支援学校への変更は児童生徒の社会参加や自立に向けて、より「支援を充実させていく」という意味も込められています。名前は変わりましたが、学校の中身は今までと変わりありません。しかしながら、4月当初に本校の教育目標として掲げている「児童生徒一人一人の豊かな心を養い、たくましく生きる力を育成する」ことの大切さを職員全体で再認識し、心を新たにしながら教育活動に取り組んで参りたいと考えています。

さて、今年度は児童生徒218名でスタートし、これまで1学期の学習活動に取り組んできました。小学部の運動会では1年生から6年生までしっかりと目的意識を持ち最後までがんばって取り組んでいました。また、中学部の体育祭では自分の競技に全力で取り組みましたが、みんなで協力しながら盛り上げ中学部にふさわしい活動でした。また、小・中学部のPTA親子行事では、「あきらちゃん&タンバリンくん」を招き、児童生徒だけでなくお父さん、お母さん方も一緒に歌ったり踊ったりしながら楽しく過ごすことができ、児童生徒たちの心に残った活動となりました。高等部では5月に県の障がい者体育大会が地元の会津若松市で開催され、部活動で練習している成果を十分に発揮し、多くのメダルを獲得することができました。また、6月には産業現場等における実習が2週間あり、2・3年生は校外で、1年生は校内で実習を行い、自己の進路を考えるとともに、実習先での様々な体験を通して社会性を身につけることができました。

1学期は終了しますが、今後も保護者の皆様、関係機関や地域の皆様と連携しながら、児童生徒の充実した学習活動に向けて努力して参ります。

～安全・安心に向けた取り組み～

生徒指導部

生徒指導部では、「安全な生活や通学に向けた指導の充実」、「関係機関と連携し、事件事故の未然防止や早期発見、早期解決」といった重点事項をあげており、全職員が一丸となって学校全体で指導にあたっています。



1 安全な生活や通学に向けた指導

(1) 通学について

- ①「通学の手引き」を使って、通学バスの利用や自力通学の捉え方、通学の諸手続等をお知らせしています。これをもとに教員と保護者が連携して「適切な通学方法」や「自立した通学に必要な力」等について考え、指導を行っています。
- ②下校時、学校から会津若松駅までの通学路において、不審者への警戒や緊急時の対応、交通ルールの遵守に向けた巡回指導を、全職員で行っています。
- ③各学部とも年に数回、交通安全教室を行い、交通ルールや公共機関の利用の仕方、緊急時の対応等について学習しています。また、外部団体から用具借用の御協力もいただいております。

(2) 生活について

本校の学校安全計画を作成し職員全体へ共通理解を図りながら、安全教育を進めています。高等部においては、「心身の健康や青年期の悩みや課題（性教育）を明確にする」といった目標のもと、他の部と連携を取りながら「性に関する指導の充実」に努めています。スポーツタイムの時間を月に一回利用し、各月のテーマに基づいてグループ別で話し合い活動を行いながら、生徒自身が日頃の自分を振り返るとともに、適切な行動の仕方を身につけられるいい機会となっております。

2 関係機関との連携

- ①外部講師（ドコモの職員や会津保健福祉事務所等）を依頼し、様々なテーマ（「SNSの利便性と危険性」や「命の大切さと異性とのかかわり方」等）について講話をしていただきました。自分たちの現在の状況や実際に起こった事故や犯罪から、「どういった点が問題なのか」を考えていくことで、生徒たちも自分のこととして捉えながら、学習に取り組んでいました。
- ②児童生徒が地域で安全に生活できるように、会津地区管内の警察署と連携を取りながら、非行防止や不審者への対応、行方不明時の捜索活動等にご協力いただいております。



※「安全」「安心」に対する指導・支援は、学校の中だけでは育ちません。家庭や地域、学校が連携し、協力して子ども達の力を育てていくことが大切だと考えています。

小学部

小学部は15名の新入生と2名の転入生を加え、74名でスタートしました。今年度も月曜日に小学部合同学習『わくわくタイム』を実施し、集団での学びも大切に、さまざまな活動に取り組んでいます。

【入学おめでとう会】「友達になろうね。」とメダルを1年生にプレゼントしたり、みんなで歌やダンスをしたりして盛り上がりました。

【保健の先生からの話】良い歯の表彰をしたり、夏に向けて、衣服の調節や汗の始末等の話を聞いたりしました。

【七夕集会】願い事を書いた短冊を、みんなで笹に飾りました。織姫と彦星が「願いが叶うように、いろいろなことに挑戦しよう。」と、願いや目標に向かって頑張ろうと励ましました。



中学部

今年度は16名の新入生を迎え、39名の生徒と28名の職員でスタートしました。4月には2、3年生が「新入生を迎える会」で熱烈に歓迎しました。

入学して緊張しっぱなしの1年生も、この日からは、緊張もほぐれ、笑顔で登校するようになりました。

5月には避難訓練、6月9日には1学期の一番大きな行事「**体育祭**」が開催され、楽しく和やかに一日を過ごしました。

体育祭の1週間後には、「**水泳教室**」があったり、水泳訓練室で心理解放を図ったりしました。



高等部

今年度の高等部は総勢105名です。29名の新入生を迎え、2・3年生は先輩としての貫禄が感じられるようになりました。1年生も高等部の生活に慣れ、それぞれに力を発揮する姿が学習や学部行事等から窺えます。第Ⅰ期産業現場等における実習では、2・3年生たちが61の事業所（一般企業28、福祉サービス23）で2週間実習しました。1年生は校内実習で、社会生活、職業生活に必要な技術や態度を学びました。



対面式の様子



1年生：桜の木の下で



記録会の様子
「自己の記録更新を目指しながらあきらめない「精神力」と継続できる「体力」を養っています。

『本年度の研修について』

今年度の校内研修は「児童生徒が主体的に学ぶことができる授業づくり～教材・教具の工夫」というテーマで進めています。

日常生活の指導や生活単元学習、国語、算数、体育、自立活動、作業学習、職業のグループごとに、授業で使用する教材や教具に焦点を当てながら授業の進め方について話し合っています。

7月22日には、授業に役立つ情報を学び合うことを目的に、実技研修会を行います。障がい者スポーツ、手話入門、エクセル・iPadの活用など7講座が開かれます。7月24日には、特別支援教育関連機関の見学を行います。夢の樹やアガッセ、豆菓子問屋おくやなど会津地域の施設や会社を見学します。

